将来に向けて志高く

第58回大河原中学校立志式

2月3日、将来の決意や目標を明らかにし、大人としての自覚を深める大河原中学校の伝統行事「立志式」が、えずこホールを会場に行われました。

この日、立志式を迎えたのは2年生188名。「十四歳に想う」と題し、代表生徒がステージに立ち、音楽療法士や教師など、将来の夢とその実現に向けた決意を発表しました。その後は、各クラスの生徒全員がステージに上がり、「愛」「無限」「飛躍」「虹」「絆」「進撃」をテーマに、堂々と「誓いの言葉」を述べました。記念合唱では、今までの練習の成果を発揮し、素晴らしい歌声を響かせました。最後に、代表生徒が両親へ感謝の手紙を朗読し、手渡すと、会場からは温かい拍手が送られました。

立志生たちは、立志式を通じて自己と向き合いながら将来の「志」を高く掲げることができました。



▲力強く「誓いの言葉」を述べました。



▲感謝の気持ちを歌声に込めて「いのちの歌」を合唱しました。



▲生徒代表として両親への感謝の手紙を朗読する樋渡 彪斗さん。



▲コロナ禍での立志式となり、マスクを外したのは記 念撮影のときだけでした。





町の安全を見守り続けて

長谷川 福司さん (金ケ瀬6区) が表彰を受けました

2月2日、役場内において宮城県知事からの褒状 の伝達が行われました。

多年にわたり交通安全指導員として地域の交通安全活動に尽力された功績により長谷川福司さん(金ケ瀬6区)が表彰を受けました。

これからも町の交通安全指導隊の隊員として地域 の安全を見守ってください。



桃の節句に飾ってほしい

紙紐でお雛様を作って飾ろう

2月3日、金ケ瀬公民館で「紙紐でお雛様を作って飾ろう」講座が開催されました。

参加した皆さんは講師の見本を参考にして、大河原 町をイメージした桜柄の飾りを金の屏風に貼り付け たり、雛人形の髪の長さを考えたりしながら約2時間 で雛飾りを完成させました。

参加したかたの1人に「どこに飾るのですか?」と たずねたところ、「遠方に住んでいる中学生の孫にプ レゼントします。」と笑顔で答えてくれました。



高齢者の緊急時に備えて連携

町と日本郵便㈱との包括的連携に関する協定書に基づく 「高齢者救急安心カード事業」の連携に係る式事

2月9日、役場内で「高齢者救急安心カード事業」 の連携に係る式事が行われました。

「高齢者救急安心カード」とは、自宅で救急車を必要とする事態に備え、筒状の容器の中に緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を記載したカードを入れ冷蔵庫などに保管しておくものです。町、町社会福祉協議会、町民生委員協議会と日本郵便㈱が連携し、町内4郵便局でも普及のための周知活動を行います。



これまでに 1,200 人を超える高齢者のかたに配布してきた「高齢者救急 安心カード」。65 歳以上の 1 人暮らしのかた、80 歳以上の高齢者世帯 のかたなどで、配布を希望される場合は、お気軽にお声がけください。



